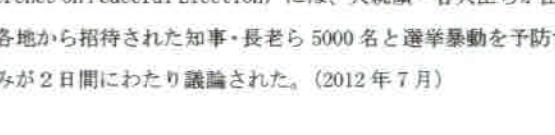


ナイロビ市マザレ・スラムにおける民族間の対立抑止のための
コミュニティ平和構築事業

事業内容に関する写真

	 <p>1. マザレスラム内の事業開始セレモニーの風景。定員 30 名の会場は、事業関係者・地域住民らで超満員となった。檻上右から、Ngeiil 代表ジュマ、JCCP ケニア代表事務所石井代表（PM）、ケニア大使館二等書記官秋山氏、JCCP ケニア代表事務所佐藤調整員。（2012 年 5 月）</p>
	 <p>2. カウンセリング設備が整った Child Therapy Room 内で談笑するカウンセラージュディと JCCP 現地職員アリス（2012 年 7 月）</p>
	 <p>3. スラム内における異なる民族同士による清掃活動の様子。（2012 年 6 月）</p>
	 <p>4. 啓発活動の模様。地域住民が、パフォーマーの周辺に集まっている。（2012 年 7 月）</p>
<p>5. 啓発宣伝車がスラム内を巡回し、バナーやポスターとスピーカー</p>	<p>6. 啓発宣伝車と共に、安全を呼びかける若者リーダーと JCCP</p>

**ナイロビ市マザレ・スラムにおける民族間の対立抑止のための
コミュニティ平和構築事業**

<p>放送で地域の安全を呼びかけて回った。(2012年7月)</p> 	<p>現地職員（左から2番目）(2012年7月)</p> 
<p>7. 異なる民族で混成されたスラム・ミュージシャンによる劇パフォーマンス。参加者は笑いながらメッセージを受け取る。(2012年7月)</p> 	<p>8. 異なる民族で混成されたスラム・ミュージシャンによるダンスパフォーマンス。(2012年7月)</p> 
<p>9. 正義省主催による選挙を平和に実施するための国家会議 (National Conference on Peaceful Election) には、大統領・各大臣らが出席し、全国各地から招待された知事・長老ら 5000 名と選挙暴動を予防する取り組みが 2 日間にわたり議論された。(2012年7月)</p> 	<p>10. 正義省主催による選挙を平和に実施するための国家会議 (National Conference on Peaceful Election) に招待された JCCP。会議では、「治安維持と平和には市民社会との連絡がかせない」と大統領から繰り返し伝えられた。右から 2 番目 JCCP ケニア代表事務所・佐藤調整員。(2012年7月)</p> 